



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第35巻 第2号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第35巻第2号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科
紀要 1989, 35(2): 383-384

ISSUE DATE:

1989-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/116416>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 2 February 1989

泌尿器科紀要

第35巻 第2号 1989年2月

【原著】

- ヒト前立腺上皮の細胞間コミュニケーションの検討……………木原 和徳・ほか… 201
絨毛癌に対する targeting cancer chemotherapy に関する基礎的研究
—Liposome の応用— ……………田寺 成範・ほか… 209
尿中 tissue polypeptide antigen (TPA) に関する臨床的研究
測定上の問題点の検討とその改良……………吉田 全範・ほか… 217
尿路性器癌の肺転移巣に対する手術治療例の検討……………中川 修一・ほか… 225
尿路上皮癌に対する Vincristine, Peplomycin, Methotrexate,
cis-Diamminedichloroplatinum (II),
Adriamycin 併用療法 (VPM-CisA 療法) ……………神波 照夫・ほか… 231
膀胱腫瘍の併発がみられた腎盂・尿管腫瘍症例の検討……………松木 尚・ほか… 239
ラット BBN 膀胱腫瘍発生に対する抗腫瘍剤の効果について (英文) ……鈴木 孝憲・ほか… 247
表在性膀胱腫瘍に対するレンサ球菌製剤,
OK-432 による局所療法および OK-432 と腫瘍との共通抗原性……………藤岡 知昭・ほか… 253
前立腺偶発癌の再発および顕性化因子に関する検討……………鈴木 孝憲・ほか… 259
前立腺癌凍結手術療法後の腫瘍マーカーの変動……………檜垣 昌夫・今村 一男… 265
前立腺癌の治療成績……………橋本 博・ほか… 271
尿中分離菌のウレアーゼ活性……………新井 豊・ほか… 277

【統計】

- 近畿大学医学部泌尿器科学教室における1984年より
1986年までの3年間の手術症例について……………栗田 孝・ほか… 283

【症例】

- 腎盂移行上皮癌と腎細胞癌の同側重複腫瘍の1例……………荒木 富雄・ほか… 291
黄色肉芽腫性腎盂腎炎を伴った気腫性腎盂腎炎の1例……………守屋 昭・ほか… 295
血中および尿中 hCG が高値を示した成人後腹膜胚細胞腫瘍の1例……………中島 洋介・ほか… 301
後腹膜脂肪肉腫の1例……………大藪 裕司・ほか… 307
尿管エンドメトリオーシスの2例……………渡辺 俊幸・ほか… 315
長大な尿管ポリープの2例と本邦46例の検討……………高村 真一・ほか… 323
瘤内結石を契機とし発見された成人女性の異所性尿管瘤の2例……………林田 英嗣・ほか… 329
M-VAC 療法にて完全寛解を得た膀胱癌脳転移の1例……………中川 修一・ほか… 333
若年者(17歳)にみられた膀胱腫瘍の1例……………金 哲将・ほか… 337
局所性膀胱アミロイドーシスの1例……………三宅 修・ほか… 343
膀胱ヘルニアの1例……………佐井 雄一・ほか… 349
精子侵襲症の4例……………山口 誓司・ほか… 353
陰嚢内 sclerosing lipogranuloma の1例……………岩川愛一郎・濱野 克彦… 357
クライシスで発症した小児原発性副甲状腺(上皮小体)機能亢進症の1例
—本邦報告24例の観察—……………松宮 清美・ほか… 361
バラコート中毒の4例……………浜口 毅樹・ほか… 367

【治験】

- イオン性造影剤に副作用を有する患者に対する
Iohexol (Omnipaque®) の使用経験……………布施 春樹・ほか… 371
複雑性尿路感染症に対する Geftriaxone (CTRX) の使用経験……………山川 謙輔・ほか… 377

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 8,000 円（送料とも）を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1989年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁（400字×20枚）までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁（400字×12枚）までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め（ただし、文節の始めに来る場合は大文字）、タイプで明瞭に記載する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名（教授、部長、院長、科長、医長など）、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例；山田，ほか：前立腺癌・PSAP
 - (4) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語（英文）以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words（和文に準ず）、running title（和文に準ず）の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (5) 図（Fig.）、表（Table）は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの（コピー不可）。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印（直接写真に貼付）などを入れ、わかりやすくする。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる（アルファベット順不可）。その数は30までとする。
例：山田^{1,3,7)}，田中ら^{8,11-13)}によると…

雑誌の場合—著者名（全員）：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄，上田 眞，野々村光生，飛田収一，大石賢二，東 義人，岡田裕作，川村寿一，吉田修：経皮的腎碎石術（PNL）および経尿道的尿管碎石術（TUL）にみられる発熱について。泌尿器科紀要 33：1357-1363，1987

単行本の場合—著者名（全員）：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp.331-334, Plenum Press, London, 1976

例4) 大保亮一:腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編, 第1版, pp. 259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (7) 原稿は, オリジナル1部とコピー2部(図, 写真は3部ともオリジナル)を書留で送付する. 万一にそなえて, コピーを手元に控えておくこと.

(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301 号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否: 論文の採否は編集委員で決定し, 連絡する.
- (9) 論文の加筆訂正: 審査の結果, 編集方針にしたがって原稿の加筆, 削除, および一部分の書き直しをお願いすることがある. また, 編集委員の責任において多少字句の訂正をすることがある.
- (10) 校正は著者による責任校正とする. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
- (11) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.
- 迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.
- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円, 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.
- (3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

編集委員:	吉田 修(委員長)	石神 襄次	前川 正信	宮崎 重
	新谷 浩	園田 孝夫	友吉 唯夫	

泌尿器科紀要 第35巻 第2号 1989年2月25日 印刷 1989年2月28日 発行
 発行 吉田 修 顧問 加藤 篤 二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301 号 電話 (075) 752-0100
 F A X (075) 752-0190
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
